



広報 なかわだ

第 390号

6月の予定

教会委員会 6月10日(日)
 信徒の会 例会 6月17日(日)
 子どもと共に捧げるミサ 6月24日(日)



The Holy Trinity (Luca Rossetti 1738-9)

2012年 6月号

中和田カトリック教会
 広報委員会発行

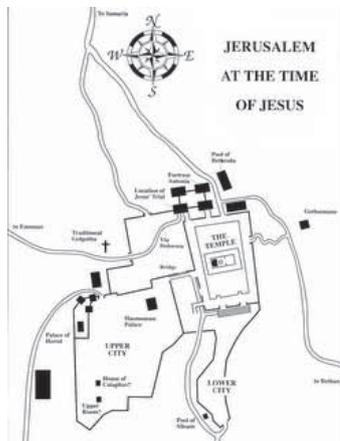
泉区中田北1丁目9-1
 Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

2012年6月3日

つえ以外は、パンも袋もお金も持たないように <マルコ福音書6章>

主任司祭 小林 陽一



イエス時代の宣教は、持たざることが前提でした。弟子達は、この世の財宝から精神的に離脱するよう、イエス様から要求されていました。宣教の旅に出たら、つえは持ってもよいが、パンもお金も、食料や貴重品を入れる袋も持ってはならないと。イエス様から呼び寄せられた12人の使徒達は、二人一組で宣教するように言われ、派遣されました。イエス様から与えられたものは、汚れた霊を取り払うための権能でした。弟子達が出かけて行って述べ伝えたことは、悔い改めるようにという事にありました。

恐らく、弟子達は、3年間のうちに何回も二人一組の宣教の旅をするように命じられ、その度に、パンのことで、お金のことで、袋を持たせてもらえないことで、思い悩んだことでしょう。けれども、「困った、困った、どうしよう」と言う度に、「持っていかなくてよいのだ。持っていけば、きっと害になる」と自分に言い聞かせ、そのように実行すると、思いがけず導きを受け、宣教の手応えを感じたに相違ありません。なぜならば、弟子達が物質的に豊かな生活をしてきたならば、自分の精神的貧しさ

について錯覚をおこす危険が大きいからと思われます。この世のありさまは過ぎ去るから（Iコリント 7章31節）。この世の事物は実際には利用しないかのように利用することが必要であるから。イエスの弟子になるためには、あらゆるものを放棄しなければならず、物質的富の放棄は、その一つに過ぎないからです（ルカ福音書 14章33節）。

物質的な貧しさは、精神的な貧しさに至るための最も確実な道であると思われます。そして、このように貧しくなることの根本的な理由は、そしてその目的は、富んでいたのに自分の貧しさによって信仰者を富ませるために、貧しい者となった主イエス・キリストの恵み（IIコリント 8章9節）の奥義に与ることにあります。



日	曜	典 礼	ミ サ ・ 勉 強 会	備 考
2	土		主日ミサ(18時)	掃除
3	日	三位一体の主日	主日ミサ(9時)	
9	土		主日ミサ(18時)	掃除
10	日	キリストの聖体	主日ミサ(9時)	教会委員会
15	金	イエスの御心	祭日ミサ(10時)	
16	土			掃除
17	日	年間第11主日	主日ミサ(9時)	
23	土			掃除
24	日	洗礼者聖ヨハネの誕生	子どもと共に捧げるミサ(9時)	聖堂清掃(A,B)、サロン
29	金	聖ペトロ・聖パウロ使徒	祭日ミサ(10時)	
30	土			

第5地区要理学校運動会！！（5月20日）

5月20日湘南白百合学園小学校の運動場で第5地区の運動会が行われました。みのりちゃん、はるか、りくくん、えみちゃん、みづきちゃん、はなちゃん、あゆみちゃん、なおみちゃん、なおきくん、たかひろくん、年少から5年生まで10人とその保護者で参加しました。

ミサは、栄光学園の萱場神父様の司式で行われました。中和田の担当は答唱詩編。なおきくん、たかひろくんが歌いました。

綱引きやムカデ競争、パン食い競争など参加しました。いろいろな教会との混成で4つのチームに分かれていました。他の教会の友達とも声をかけたり、一緒にグループになったり、穏やかに仲よく過ごせる様子を、神様の子どもとしてのつながりが感じられました。

お天気にも恵まれ、子どもも保護者も仲よくなりました。

打ち合わせや準備、特に当日はスターターとして活躍してくださった井上さんに、この場を借りてお礼申し上げます。

（保科 桂子）



～ 中和田の風 ～

畑とともに

— 教会につながりたい —



松下ツヤ子さんにお話しを伺いました

・畑を始められたきっかけは—

当初教会の植木に関わった植木屋さんが教会の横の空き地の鈴木さんという地主さんでした。草木が生え放題の土地でしたがいずれは駐車場にできるかもしれない地主さんをお願いし無償でお借りすることができました。そして中谷さんと二人で「山崎神父様に小松菜でも作ろうか」と始めました。そのうち「コスモスも植えたいね」と畑仕事が好きな方が徐々に加わり、お花の種類も増えてきた頃、祭壇の花を飾ることを頼まれました。花屋で買うと1回に3千円くらいかかり、それなら「自分たちが育てたお花を飾ろう」ということになりました。かれこれ17年くらいになりますが、その間には大変なこともありました。でも不思議と教会内外から多くの方々の協力を得、畑仲間と共に困難を乗り越えながら楽しく開拓してきました。神様に守られているのだと思っています。

・しばらくご主人の介護とご自身の入院で畑から離れておられました。今はほとんど毎日畑仕事をなさっていますね。改めて畑仕事の魅力とは—

自分が手をかけて育てているものは可愛くて毎日でも見に行きたくなります。花や野菜の世話をしていると心が落ち着き癒されます。教会の畑仕事は私の定めだと思っています。

・好きな聖書の言葉、大切なことは—

先祖は長崎、平戸の隠れキリシタンでした。両親は熱心な信者で特に母からいつも「我慢」「堪忍」「人からしてもらって嬉しいことは人にしなさい」と言われていました。好きなお祈りは使徒信条です。畑仕事をしている時も自然と口ずさみます。

・皆様へメッセージをどうぞ—

草は取っても取っても生えてきます。よそから来られる方に良く手入れがされた教会として見て頂きたいので、お庭の草取りをお願いしたいです。

いつもご奉仕を有難うございます

信徒の皆様ご承知の通り、中和田教会建物および中庭まわりの補修や環境整備について、常日頃から武田安光様ご一家に多大なご奉仕を頂いております。

今までにご奉仕を頂いた案件は、ここに網羅出来ないほど数多くありますが、つい先日も、写真に示すように、中庭の側溝の整備(写真①)、水まわりの舗装(写真②)、古い鉄柵の撤去/コンクリートによる跡補修(写真③)、聖堂入口の滑り止め塗装(写真④)、などを行なって頂きました。まさに教会の維持運営、ならびに信徒の安全確保の為に直接的なご尽力を頂き、感謝に耐えません。

ここに、信徒を代表して、深く感謝の意を表し、御礼申し上げます。

まことに有難うございました。

(教会委員長 上野 厚)



マリノ E . デハクト Jr. 助祭の司祭叙階式に出席して

4月30日、戸部教会で行われた助祭マリノ E . デハクト Jr. の司祭叙階式に出席してきました。式は梅村司教様ほか(目視ですから正確ではありませんが)司祭約50名、フィリピンから来られた御両親、信徒約300名の出席の下に行われました。

同助祭はエスコラピオス修道会日本本部(戸部教会)に所属しておられます。同修道会の名は馴染みのない方も多いたと思いますが、総本部はローマにあり青少年教育を目的としており、日本には1950年に設置されたということです。現在、四日市市と横浜市に小教区二つを持ち、教育活動は、主に二つの幼稚園及び海星中・高校を通して行われています。

さて、同助祭はフィリピンで出生し理系大学を卒業後、司祭を志され10年前に同修道会マニラ本部から派遣され来日されました。来日後は東京カトリック神学院に進まれ卒業後助祭になられ今回の叙階を迎えられました。

同司祭は式後の挨拶で、「日本語と神学の難しさのため神学院の期末テストの度ごとに日本に来たことを後悔した」とユーモアを交えながら話されていました。私は子供の頃から、海外から来られた多くの神父様に当たり前のようにお世話になってきましたが、感謝の念を新たにさせられたものでした。また、「マニラの小教区で司祭になっていれば、日曜日毎に、ここにいる両親を前に説教しなければならなかったが、日本で司祭になったのでそのことを免れたのは助かりました」と話された時は出席者から笑いが漏れていました。

同司祭は横浜教区を中心に活躍されるとのことであります。今後、皆様もお目に掛かる機会があるかと思いますが、同司祭は大変小柄な方です。神学院長様が挨拶で、「子供の侍者と間違われませんか心配しています」と仰っていたことを最後にご紹介しておきます。

(教会委員長 上野 厚)

『信徒の会』5月度例会より(5月13日)

今月の例会は、第3日曜日が教会行事の庭の草取り作業と重なったため、第2日曜日ミサ後に行われました。

簡単な委員会報告のあと、岩淵前委員長のご都合で延びていた、第五地区共同宣教司牧委員会に関わる活動の説明、とくに三つの柱である「祈る、伝える、証しする」のうち岩淵前委員長が昨年度担当しておられた「祈り」についてのお話と分かち合いが行われました。

お話に先立って、第五地区共同宣教司牧委員会としては、必ずしも具体的な成果が出ているわけではないが、ご指導される神父様がたのお考えもあり、まず参加者のビルドアップを通して、小教区の雰囲気づくりと信徒の教育から始めようとしており、司祭、修道者、小教区それぞれの代表での話し合いが行われているという説明がありました。

「祈る力を育てる」部門では、昨年度は例えば、①集会祭儀セミナーの開催 ②各小教区における「祈りの会」の実態調査の実施 ③祈りのヒナ型作成などをされたそうです。信徒の会の出席者は各小教区で実施されている「祈りの会」のデータをいただき、他教会の信徒に対してもオープンなので、参考にしたり参加したい場合は問い合わせや参加も自由ということでした。

分かち合いでは、子どもの頃に聞いたキリシタン時代の厳しい状況下での祈りの様子や生花と典礼の関わりの深さを知って、ミサのとき十字架と共に生けられている花にも目を向けていますというお話も出ました。花とか聖歌は祈りにつながり、祈りの感性を養い、創造の神秘をも思わせる・・・などの話も出ました。

個人で祈ることも大切ですが、集まって祈る場があることも必要ですねと祈ることの大切さを噛みしめながら会は終わりました。

(岩崎 好愛)

委員会だより

(文中敬省略)

△5月12日(土) 13名出席▽

小林神父の話

・この度初聖体を3名のお子さんが受けられ大変嬉しいことです。又いつも献金に小さなお子さんたちがお手伝いしてくれるおかげで中和田教会が生き生きと活気に満ち、ありがたいことだと思っています。ご高齢の方にもどうぞ進んで皆さんからお声をかけてください。

各グループからの報告

●典札(大宮)

・6月3日(日)ミサ後、7月8日(日)に行う集会祭儀のリハーサル

・四旬節典札の振り返り:

○来年から十字架の道行を15留(キリストの復活)まで行なう。手引書改訂を検討する

○初聖体を復活祭から独立させた方が良かったのではないか。

↓近辺ではこどもの初聖体を6月のキリストの聖体(主日ミサ)に行うところも多い

↓子供たちはご復活祭に初聖体を受けられ嬉しかったようだ。他の要理の子供たちには少し認識が薄かったかもしれないが、準備次第なのかもしれない。

●財務(甲斐)

・決算報告 ↓ 予定通り

・4月 改修工事費 残金支払い終了

↓コピー代、3月4月が突出している。ノートがあるので使用枚数を必ず記入のこと

●宣教(井上、石井)

・5月1日(火)リーダー8名でサマーキャンプの下見をした。場所は山中湖近くの森の中で素晴らしい環境だった。

↓上野：かかった交通費は請求してください

・5月5日(土) 中高生会の進級、進学、就職のお祝いをした。午後6時より主日ミサにあずかり、集会所にて会食を行った。神父様を交え和やかに楽しい会食となった。中高生9名出席

・一粒会 祈りのリレーが始まる。中和田は7月が当番月なので共同祈願でお祈りをお願いしたい。

●要理(森脇(彰))

初聖体のお祝いありがとうございます。

●営繕/建物を考える会

5月20日(日) ミサ後 庭木の剪定、草取り

●福祉(中島)

・教会から足が遠のいておられる方に広報紙を持参してお話できた。

・5月1日、愛の献金等を仙台教区に振り込んだ。

・布切り、第3月曜日に定着してきた。集まったものは茅ヶ崎教会に持っていつている

・ミニバザー 衣類の仕分け、販売に協力する、

●バザー(大宮(絢))

・ミニバザー 5月20日

新集会所の片隅で不用衣料品(夏用)の販売をして秋のバザーを周知したい。

●第21回横浜地区聖歌の集いについて(大宮(絢))

・中和田教会での聖歌の集いの練習は他教会参加者の方から好評だった。今年は5月13日戸部教会で行われる。10人の参加費用は教会負担として認められた。

●総務(岩淵)

・スケジュール確認

●広報(今井)

・原稿依頼

・その他：日本語を母語としない方々のための日本語理解のお手伝いをしたい。

・広報のお知らせ要約版(振り仮名つき)を作成したものを準備する。第4週サロンでお茶後、二階和室で行う。一緒に活動して下さる方は今井までお申し出ください。

●信徒の会(小野)

・4月17日(火)ミニ巡礼が無事終わった。

・ガーデンパーティー
他の教会とバツティングしないよう日時を決定したい

↓井上 中高生会の合宿も兼ねたい

●連絡討議事項

●チャリティコンサート(甲斐)

6月3日(日) 13時30分開演

↓小林神父 マイクのメンテナンス、機器を確認してほしい

●災害対策(上野)

横浜教区災害対策特別委員会の資料にもとづき話し合った。

今後とも検討していく。 以上

(次回委員会 6月10日(日))

教会からのお知らせ

●結婚

岩方裕一さん

マリア 石川康子さん

5月5日戸塚教会にて挙式されました
おめでとうございます



●転出

クリスチナ 巢田初恵さん

4月25日付で、戸部教会に転出されました

●訃報

ヨゼフ 高橋勇吉さん

5月19日に帰天されました
謹んでご冥福をお祈り申し上げます



チプリアノ 花坂洋一さん

5月24日に帰天されました
謹んでご冥福をお祈り申し上げます



(総務グループ)